

板ガラスの光学的性能・熱的性能

真空ガラス

複層ガラス

防耐火ガラス

防災・防犯ガラス

強化・倍強度ガラス

合わせガラス

特殊機能ガラス

熱吸・熱線反射ガラス

板ガラス

装飾ガラス

鏡・カラーガラス

板ガラス応用製品及び施工法

設計・施工・使用上の注意

板ガラスの光学的性能・熱的性能

製品一覧

●データ算出のための諸条件

- 1 光学的性能値は垂直入射(入射角0°)の値です。
- 2 可視光特性はJIS R 3106:2019に基づきCIEで定める標準の光D₆₅を光源として明順応比視感度より求めた値です。(可視光の波長範囲:380~780nm)
- 3 日射特性はJIS R 3106:2019に基づき日射の標準スペクトル分布を用いて求めた値です。
- 4 反射率OUTは室外側、反射率INは室内側の値です。
- 5 複層ガラスおよび、合わせガラスは表の構成品種左側に示したガラスを室外側とします。
- 6 「ペアマルチEA寒冷地タイプ」「ペアマルチLow-E寒冷地タイプ」「ペアマルチスーパー」「セキオペア高断熱タイプ」はLow-Eガラスを室内側とし、Low-E膜面を中空層側とします(右図参照)。「ペアマルチEA」「ペアマルチLow-E」「ペアマルチレイボーク」「スクールペアエコEA」「セキオペア遮熱高断熱タイプ」はLow-Eガラスを室外側とし、Low-E膜面を中空層側とします(右図参照)。
- 7 「ペアマルチRS」はレフシャインを室外側ガラスとして反射膜面を中空層側とした値です(右図参照)。
- 8 「レフライトS合わせガラス」はレフライトを室外側ガラスとして反射膜面を中間膜側とした値です。
- 9 「レフライト」の反射膜面は上段を室内側、下段を室外側とします。「レフシャイン」は反射膜面を室内側とした値です。
- 10 紫外線透過率はISO 9050:2003に基づいて求めた値です。
- 11 熱貫流率はJIS R 3107:2019に基づいて求めた値です(冬の値です)。
熱貫流率は室外側の周囲空気温度と室内側の周囲空気温度との差1℃当たり、そのガラスの中央部を貫流する熱流束をいい、値が小さいほど断熱性能に優れています。
我国では従来慣習としてK値と呼んでいましたがISOに従ってU値とも呼ばれています。

表には従来単位とSI単位を併記しています。

・U値 W/(㎡・K)

・K値 kcal/㎡h℃

12 日射熱取得率はJIS R 3106:2019に基づいて求めた値です。日射熱取得率とは窓ガラス面に垂直に入射する日射について、構成ガラスに吸収されて室内へ伝達される熱流と日射透過率を加えたものをいい、値が小さいほど日射熱の遮蔽性に優れて

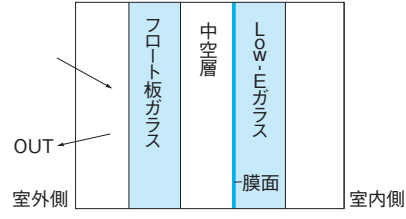
います。

13 遮蔽係数は3ミリの厚さのフロート板ガラス(透明)の日射熱取得率を1とした場合の日射熱取得率の相対値です。

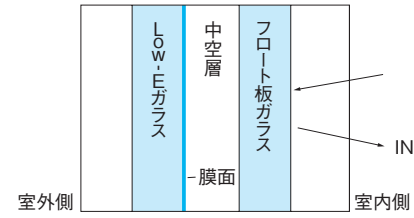
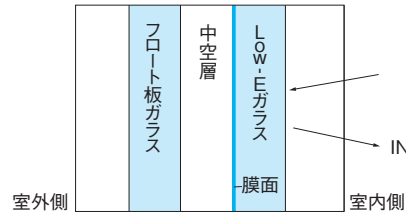
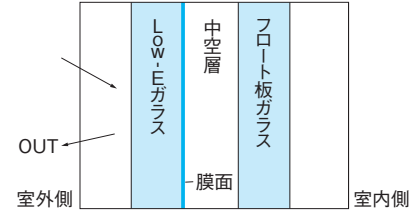
14 真空ガラスの真空層の熱コンダクタンスは、複層ガラスの性能の向上に関する熱損失防止建築材料製造事業者等の判断の基準等(平成26年11月28日経済産業省告示第235号)に準じます。

反射率のOUT-IN

●ペアマルチEA寒冷地タイプ
ペアマルチLow-E寒冷地タイプ



●ペアマルチEA



●ペアマルチRS

